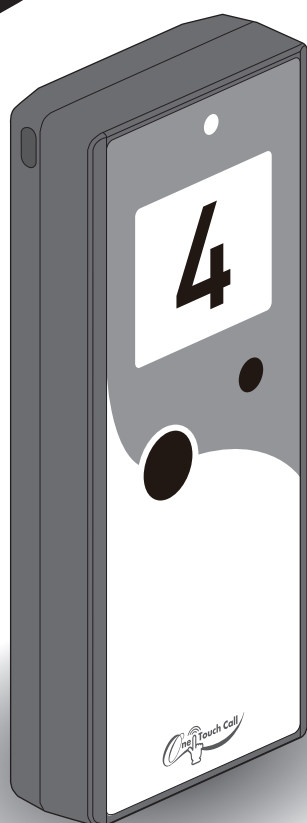




取扱説明書



このたびはワンタッチコールをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。

目次

安全上のご注意	1～3
各部の名称と使い方	4
ご使用になる前に	
●受信機の充電	5
●送信機の電源の入れ方	6
ご使用方法	
●受信機の呼び出し	7
●受信機の再呼び出し	8
受信機の設定	9～10
受信機のリチウムポリマーバッテリー交換	11
その他の便利な機能	12
故障かな？と思ったら	13
お手入れの方法	13
旧製品	14

【ワンタッチコール】

- 送信機・・・・・・・・・・ WTR
- 受信機2・・・・・・・・・・ WRE2
- 充電スタンド2・・・・・・・・ CH-B
- 中継機（オプション）・・・・ WRP

安全上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

警告

絶対に分解したり、修理・改造しないでください。

感電や火災の原因となります。



分解禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



濡れ手禁止

ACアダプタはコードを引っ張ったり、束ねて使用しないでください。

発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。



禁止

コンセントと電源プラグの間にほこりが溜まらないよう定期的に掃除をしてください。

大量のほこりが付着しますと火災の原因となります。（トラッキング火災）



禁止

製品に水や洗剤をかけないでください。

ACアダプタの設置ならびに充電スタンドの設置は水のかからない場所で必ず行い、湿気の多い場所には設置しないでください。

感電や火災の原因となります。



水まわり禁止

リチウムポリマーバッテリーは寿命（約1年半～2年）を超えての使用はしないでください。

機器の故障、火災の原因となります。使用済バッテリーは破棄願います。



禁止

充電スタンドの中に「クリップ」「スプーンなどの金属製食器」「その他貴金属」を落とさないでください。

万が一落下した際は、電源コネクタを外してからお取りください。

感電やショートの原因となります。



必ず守る

付属のACアダプタ以外を使用しないでください。

本機はリチウムポリマーバッテリー専用に設計されています。

別のものを使用すると火災の原因となります。



禁止

異常が発生したら電源プラグを抜く。

「おかしい？」と思った症状がある場合には、電源プラグを抜き、お買い上げ店へ連絡してください。



電源プラグを抜く



注意 人が損害を負う可能性および物的障害の発生が想定されます。

注意

付属のACアダプタ以外を使用しないでください。
付属のリチウムポリマーバッテリーは絶対に分解しないでください。



分解禁止

交換用リチウムポリマーバッテリーは指定品をご使用ください。
詳しくはP11を参照してください。



必ず守る

交換したリチウムポリマーバッテリーはご使用になれる地域の処理条例に従って破棄してください。



必ず守る

ワンタッチコールは、特定小電力(429MHz帯)を利用した無線機です。
設置場所周辺の電波状態、建物の構造により正しく受信されないことがあります。



必ず守る

おかしいと感じたら販売店へ連絡してください。

ワンタッチコールは、販売時に各使用場所ごとに周波数を割り当て、近隣どうしの誤作動を防止しております。
移転・移設の場合には、必ずお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。



必ず守る

転売を禁止しております。

各使用場所ごとに周波数を割り当てているため、転売後に電波障害を起こす可能性があります。
弊社および弊社が販売を委託しているサイト以外の「掲示板・オークション」「フリマアプリ」等から購入した商品に関して生じたトラブルについては一切の責任を負いません。



必ず守る

安全上のご注意(リチウムポリマーバッテリー)

●本書にない方法でご利用を頂いた場合は、死亡・傷害・財産の損害などが発生することがございます。



警告 死亡や重症を負ったり、火災を発生させたりする恐れがある内容です。

■炎や熱源から離れた場所で、決められた温度範囲(0℃~40℃)を守って使用してください。

- ・高温環境で利用すると、リチウムポリマーバッテリー(以下バッテリー)の寿命が著しく短くなります。
- ・劣化したバッテリーから可燃性のガスが発生し、引火することがあります。

■専用の充電スタンド、ACアダプタ以外使用しないでください。

- ・破裂、変形、発火、故障の恐れがあります。

■充電は、近くに燃えやすいものがない安全な場所で、目の届く範囲で実施してください。

■約1年半~2年を目安に定期的にバッテリー交換をしてください。

■バッテリー交換の際に、バッテリーを変形させるなど、無理な力がかからないように注意してください。

■バッテリー交換時期に関わらず、製品が以下の状態であれば直ちに使用を中止し、バッテリー交換をしてください。

- ・バッテリーが膨らんでいる、ケースが膨らんでいる、充電スタンドにセットしにくい。
- ・異臭がする、内部から液体が漏れている。
- ・発熱している。
- ・充電しても、短時間で使えなくなる。

■製品から液体やガスが漏れだしている場合は、直ちに使用を中止し、以下に沿って行動してください。

- ・液体が眼に入った場合...直ちに15分以上流水で洗浄し、医師の治療を受けてください。
- ・液体が皮膚に付着した場合...直ちに石鹸と流水で洗浄し、医師の治療を受けてください。
- ・液体を飲み込んだ場合...直ちに口の中をよく洗い、医師の治療を受けてください。
- ・ガスを吸引した場合...直ちにその場を離れ、医師の治療を受けてください。

■製品の内部に液体が入った場合は使用を中止してください。

■製品を火の中に投じないでください。内蔵のバッテリーが破裂・発火し、火災の原因、ケガの原因になることがあります。



注意 傷害を負ったり、故障が発生したりする恐れがある内容です。

■長期間にわたり直射日光が当たるような場所で使用・保管しないでください。劣化や故障の原因となることがあります。

■破損した製品はゴム手袋などで取り扱いください。バッテリーの漏液やガスなどでケガをすることがあります。

■長期間使用しない場合でも、定期的に充電し、過放電しないように注意してください。

■製品を電子レンジや乾燥機、洗濯機の中に入れたり、オープンの上に置いたりしないでください。

以上

各部の名称と使い方

ワンタッチコール送信機

呼び出し番号

呼び出しをする
受信機の番号。

呼び出しボタン

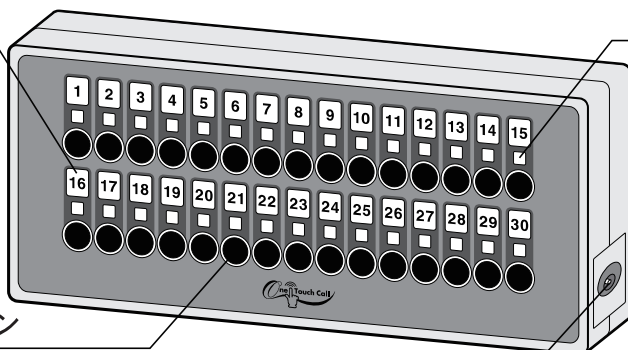
受信機を呼び出します。
ON⇄OFFの切替で操作します。

電源コネクタ

付属のACアダプタの
プラグを接続します。

LED(赤)

ON→点灯
OFF→消灯



ワンタッチコール受信機

消ボタン

呼び出し中のパイプと音を
停止します。
設定変更に使用します。

受信機接点

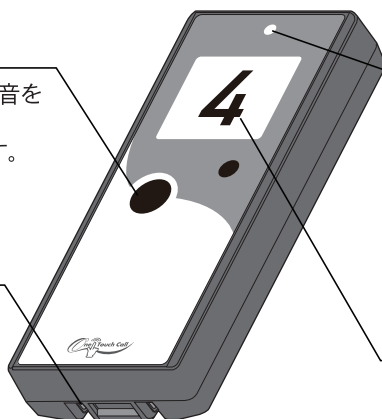
充電をする時に
この部分を下にして
充電スタンドに差し
込みます。

パイロットランプ

充電中→赤・点灯
充電完了→緑・点灯
待機中→消灯
呼び出しを受信→緑・点滅
充電の残量が少ない→赤・点滅

呼び出し番号

呼び出される受信番号



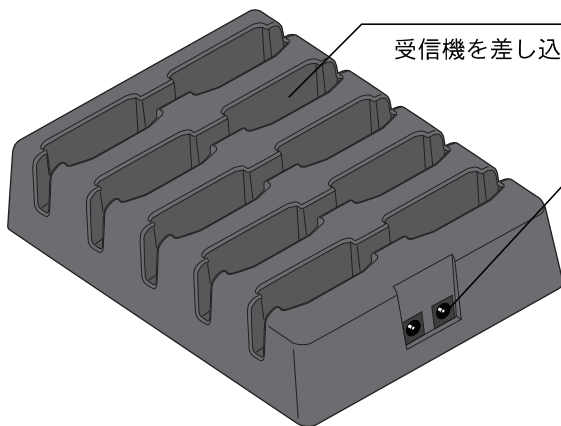
充電スタンド

充電ポケット

受信機を差し込んで充電します。

電源コネクタ

付属のACアダプタのプラグを
接続します。

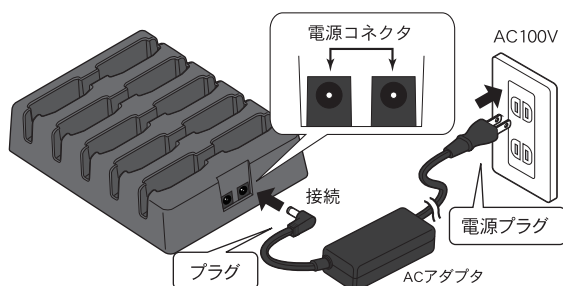


ご使用になる前に

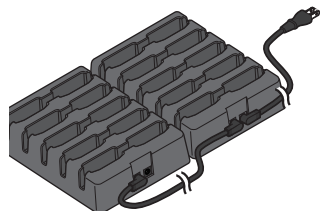
受信機の充電

※受信機は下記の操作で充電してからご使用ください。

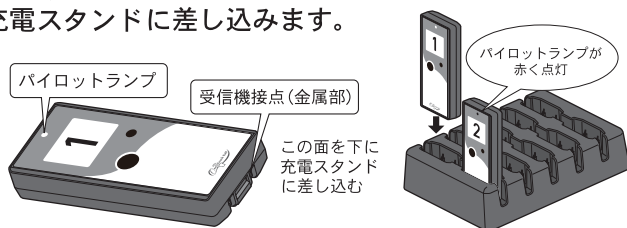
- 1 充電スタンドの電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、AC100Vのコンセントに差し込みます。



※充電スタンドは接続コード(別売)を使用すると、2台まで連結できます。

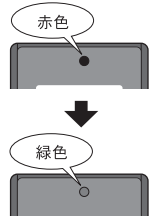


- 2 受信機の接点(金属部)を下にして、充電スタンドに差し込みます。



受信機上部のパイロットランプが赤く点灯し、充電が開始されます。

充電中のパイロットランプが、赤色から緑色に変われば充電完了です。(3~4時間でフル充電します)



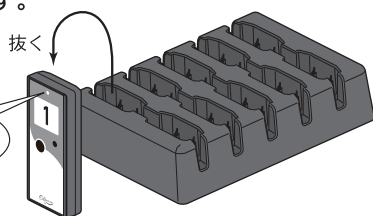
※ON・OFFのスイッチはありません。

- 3 充電スタンドから受信機を抜くとパイロットランプ(緑色)が消え、受信モードになります。

充電後、電池の残量が少なくなると、パイロットランプが赤く点滅します。充電をしてください。



パイロットランプが消える



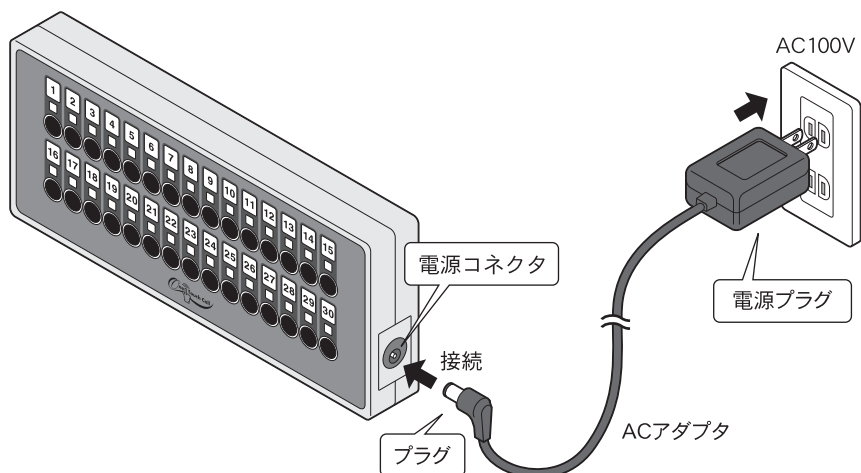
⚠ 注意

- 残量20%を切ったリチウムポリマーバッテリー(以下バッテリー)は、1分間に1回受信した場合で2時間程度使用できます。
※同じ周波数帯の特定小電力機器が周辺で使われていた場合、受信機の無線部が反応するためバッテリーを消耗する場合があります。
- 受信機を充電スタンドに入れて充電し続けても、過充電の心配はありません。
※ただし、バッテリーの残量が80%~90%(電圧が4.05V以下)に下がった時点で再度充電開始および放電を繰り返します。バッテリーの劣化につながりますので、満充電後は充電スタンドから外しての運用をお奨めします。
- 充電スタンドとACアダプタ接続部が、露出している電極はDC5Vのマイナス側の一極のみなので、漏電やショート心配はありません。
※ただし、液体がかかると電源コネクタ内部まで侵入してしまう可能性があり、その場合は漏電の危険があります。ご注意ください(電圧はDC5Vなので、感電の心配はありません)。

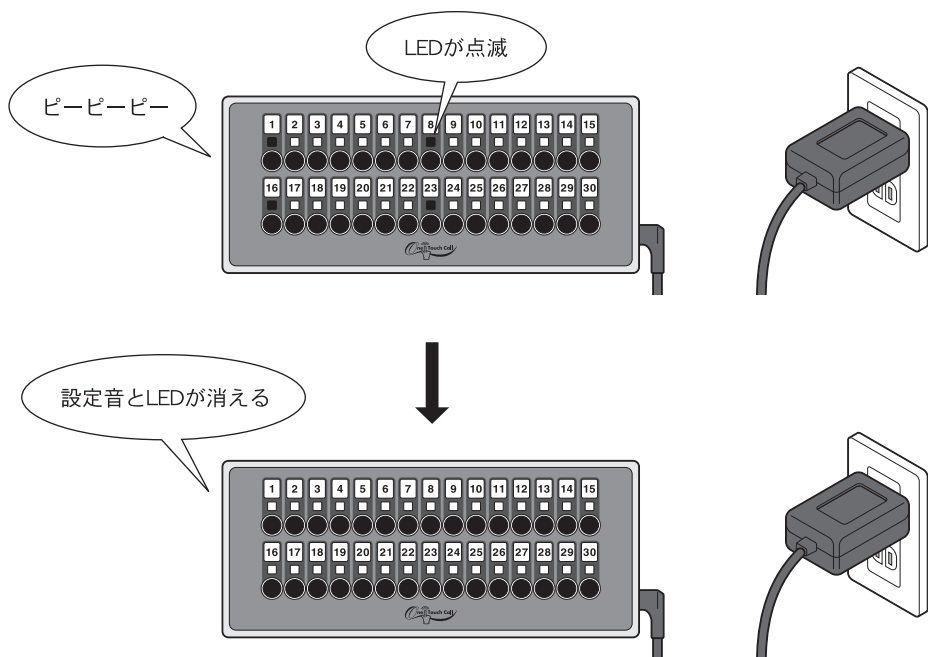
送信機の電源の入れ方

※ON・OFFのスイッチはありません。

- 1 送信機の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、AC100Vのコンセントに差し込みます。



- 2 「ピーピーピー」と動作確認の設定音が鳴り、LEDが数秒間点灯して消えます。

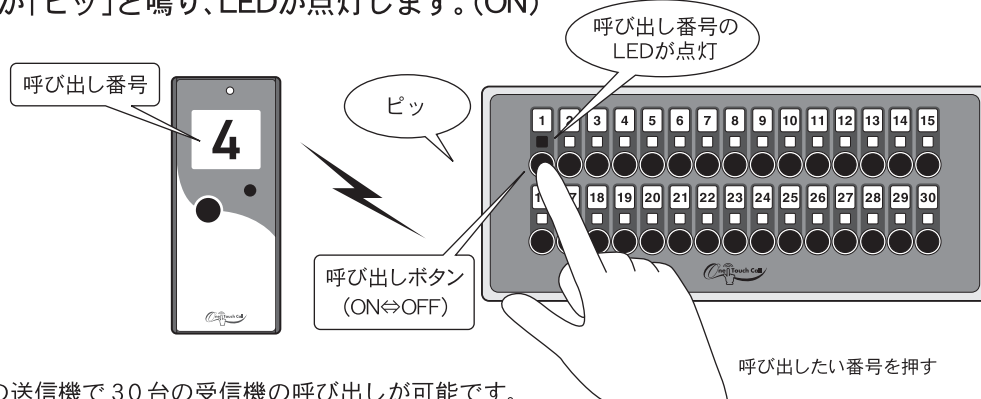


⚠ 注意 電源プラグを差し込んでも、この状態にならない場合は故障が考えられます。

ご使用方法

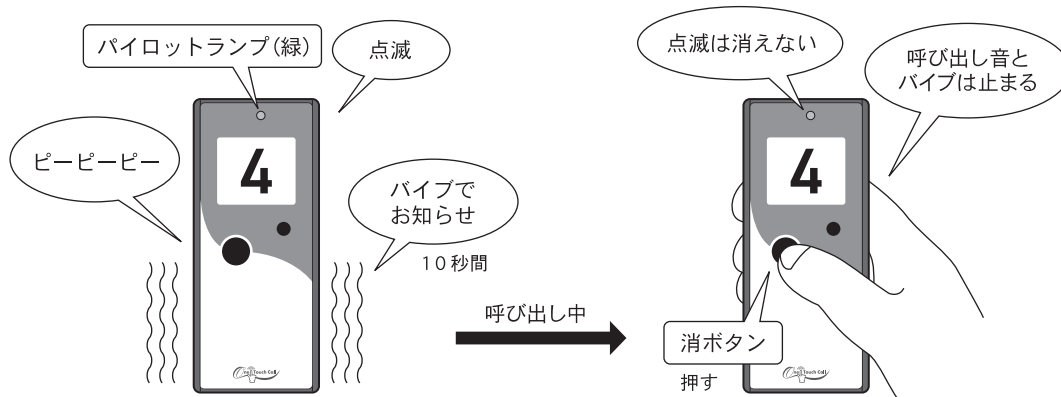
受信機の呼び出し

- 1** 呼び出しをする受信機番号の呼び出しボタンを押します。
送信機が「ピッ」と鳴り、LEDが点灯します。(ON)



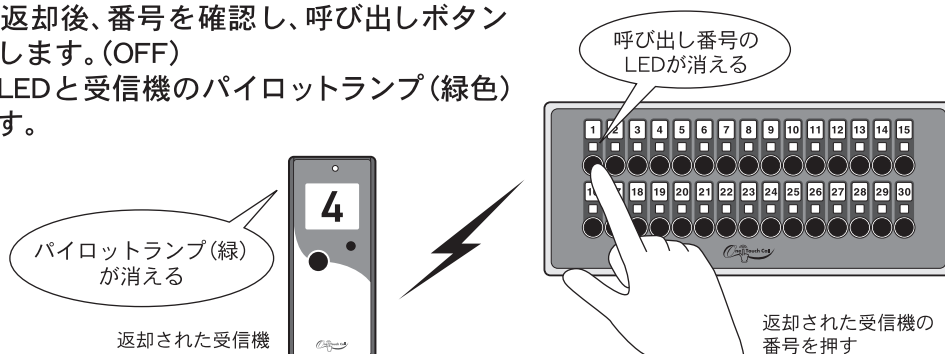
呼び出したい番号を押す

- 2** 呼び出された受信機はパイロットランプ(緑色)が点滅します。
同時に「ピーピーピー」と呼び出し音が鳴り、バイブ(10秒間)でお知らせします。



※呼び出し中に「消」ボタンを押すと、呼び出し音とバイブが止まります。
※パイロットランプ(緑色)は消えません。

- 3** 受信機の返却後、番号を確認し、呼び出しボタンを再度押します。(OFF)
送信機のLEDと受信機のパイロットランプ(緑色)が消えます。



返却された受信機の
番号を押す

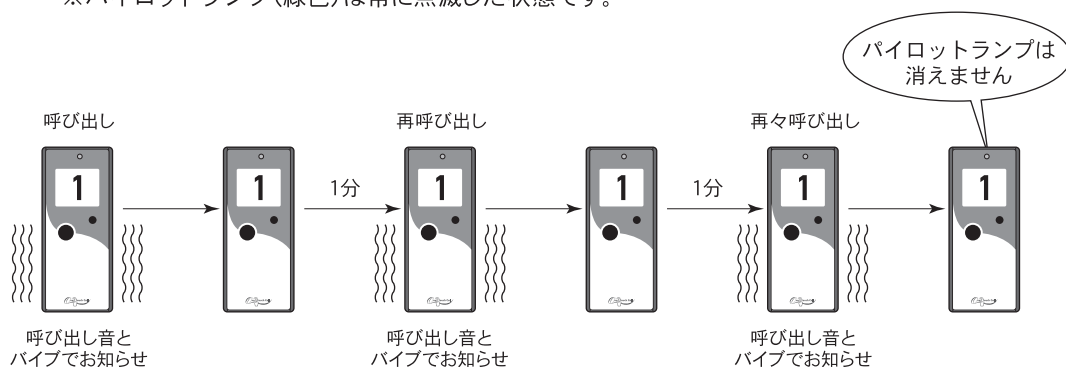
受信機の再呼び出し

自動

送信機からの呼び出しに気づけなかった場合、または受信機返却後の消し忘れ防止に再呼び出し機能が作動します。

※受信機が1分間隔で2回、再呼び出しをお知らせします。

※パイロットランプ(緑色)は常に点滅した状態です。

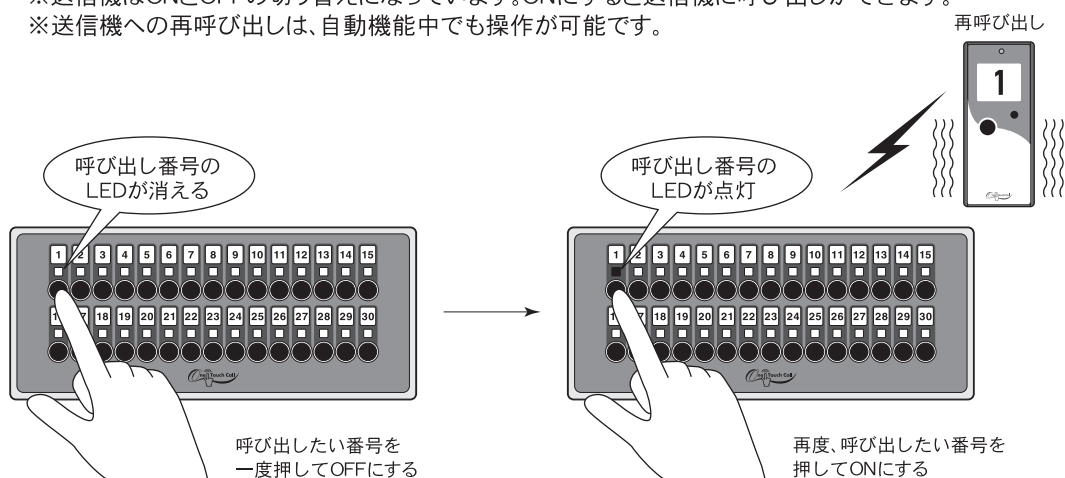


手動

送信機から再呼び出しをする場合、呼び出しボタンを一度押してLED表示を消します。(OFF) 再度ボタンを押して呼び出します。(ON)

※送信機はONとOFFの切り替えになっています。ONにすると送信機に呼び出しができます。

※送信機への再呼び出しは、自動機能中でも操作が可能です。



⚠ 注意

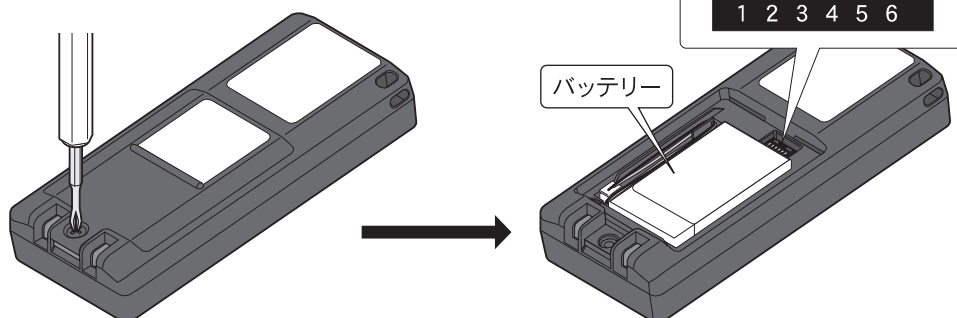
自動で再呼び出しが終了しても、送信機のLEDと受信機のパイロットランプ(緑色)は消えません。必ず、送信機で呼び出しボタンを押してOFFにしてください。

受信機の設定

呼び出し表示 をご希望の設定に変更できます。

●設定スイッチの場所

受信機の裏面にある電池蓋をドライバーで開けます。
バッテリーの右上の奥に設定スイッチ(ディップスイッチ)
があります。【1～6の数字】



⚠ 注意 設定スイッチ(ディップスイッチ)の4番以外は工場設定用ですので触らないでください。

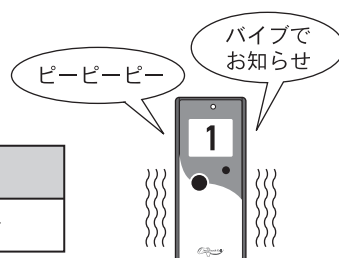
●設定内容

設 定	1	2	3
内 容	パイプのみ	呼び出し音のみ ピーピーピー	パイプと呼び出し音 ピーピーピー

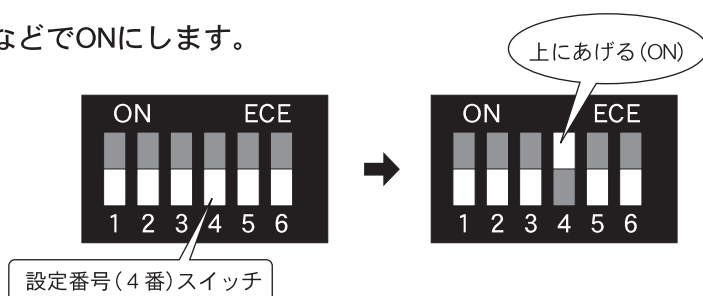
※パイロットランプ(緑色)はいずれの設定でも点滅します。

●出荷時は下記の設定になっています。

機 能	設 定	内 容
呼び出し表示	3	パイプと呼び出し音

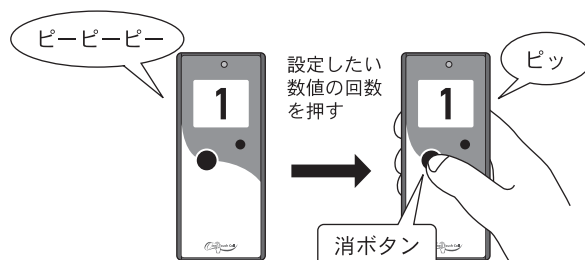


- ① 4番のスイッチを細い棒などでONにします。

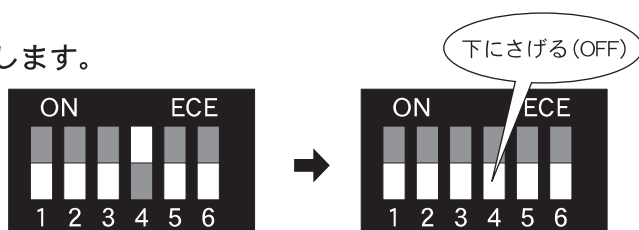


- ② 「ピーピーピー」と鳴っている間に、設定したい数値の回数を消ボタン(紫色)で押します。

※設定… 1 回押す → バイブのみ
… 2 回押す → 呼び出し音のみ
… 3 回押す → バイブと呼び出し音



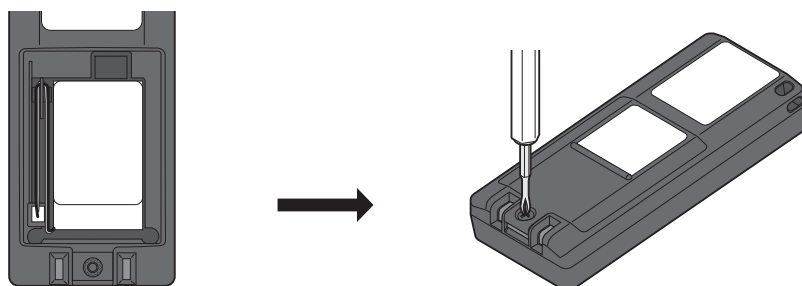
- ③ 設定完了後、スイッチをOFFにします。



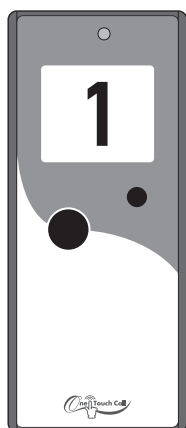
スイッチをOFFにすると、設定された数値を「ピッ」音の回数でお知らせします。



- ④ バッテリーの配線を左部に沿って入れ、電池蓋をしてドライバーでネジ止めます。



受信機のリチウムポリマーバッテリー交換



●リチウムポリマーバッテリー（以下バッテリー）は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなっていきます。

●1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったらバッテリーの寿命が近づいています。早めに交換することをお勧めします。

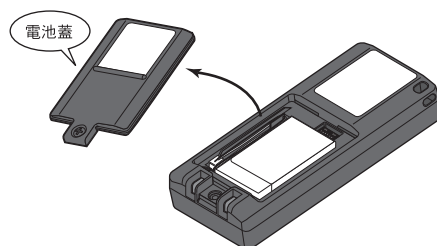
●バッテリーの寿命は約1年半～2年です。ただし、使用状況により短くなることがあります。

●バッテリーは専用電池ですので、販売店にお問い合わせください。

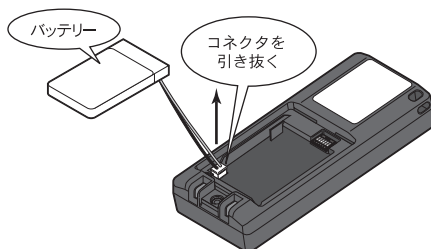
●バッテリーの寿命を過ぎてご利用されると機器の故障や火災の原因となる場合があります。バッテリーの交換は早目をお願いします。

●交換したバッテリーは保管しないでご使用地域の処理条例に従って破棄をお願いします。

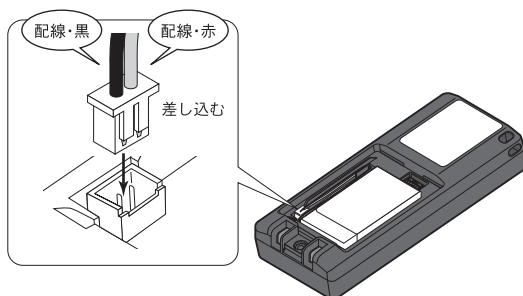
① 受信機裏面の電池蓋をドライバーで開けます。



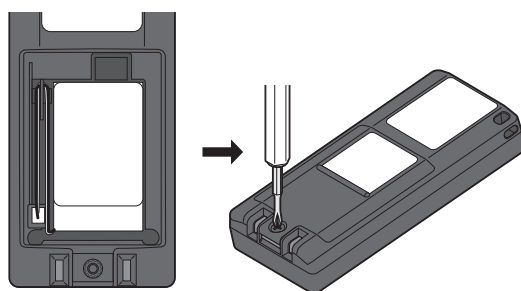
② コネクタを引き抜き、古いバッテリーを取り出します。



③ 新しいバッテリーのコネクタを図のように差し込みセットします。



④ バッテリーの配線を左部に沿って入れ、電池蓋をしてドライバーでネジ止めます。



その他の便利な機能

中継機の設置

※オプション対応となります。

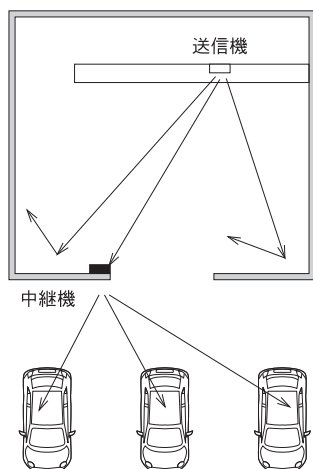
- 中継機を設置すると、送信機からの呼び出しエリアを拡げることができます。
(約150m・使用状況により変更)
- 電波の届きにくい場所への呼び出しもスムーズにできます。
- 屋外や店舗設計の複雑な場所に最適です。



※中継機は別売です。

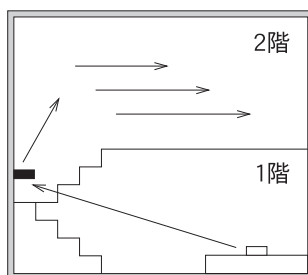
例 1

室内と駐車場など、電波の届きにくい場所に使用します。



例 2

2階への発信も可能です。



故障かな？と思ったら

●修理を依頼する前に、下表を参考にしてもう一度確認してください。

こんなときは	考えられる原因	どうすればいいの？
番号キーを押しても送信機が反応しない。 LEDランプが点灯しない。	イ) ACアダプタの電源プラグがコンセントよりはずれている。 ロ) ACアダプタのプラグが送信機の電源コネクタより抜けている。 ハ) ACアダプタの線が断線している。	イ) 電源プラグを電源コンセント(AC 100V)にしっかり差し込みます。 ロ) プラグを送信機の電源コネクタにしっかり差し込みます。 ハ) 販売店にご相談ください。
受信機が受信しない。	イ) 受信機が充電されていない。 ロ) 受信範囲を超えている。 ハ) 中継機の電源が入っていない。 (中継機使用のユーザー様のみ) ニ) 送信機のバンクもしくはチャンネルが変わっている。	イ) 充電スタンドを使い、充電をします。(3~4時間で充電完了です。) ロ) 受信範囲は約150mです。(使用条件により異なります。中継機をご利用ください。P12参照) ハ) 中継機の電源ランプが点灯しているかご確認ください。 ニ) 販売店にご相談ください。
受信機にバラつきが出る。 (鳴るものと、鳴らないものがある。)	イ) 受信機が充電されていない。	イ) 充電スタンドを使い、充電をします。(3~4時間で充電完了です。)

※上記の項目をチェックして直らない場合は、販売店にご連絡ください。

お手入れの方法

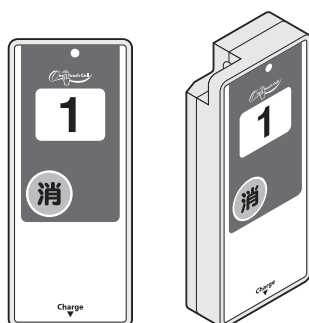
- 本体の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取ってください。
- 噴霧式(スプレーなど)業務用洗剤は使用しないでください。

旧製品

受信機と充電スタンド

- 受信機と充電スタンドの形状が新しくりましたが、機能や操作方法は旧製品と変わりありません。

ワンタッチコール受信機



充電スタンド

